

【表紙】

【提出書類】 四半期報告書

【根拠条文】 金融商品取引法第24条の4の7第1項

【提出先】 関東財務局長

【提出日】 平成27年11月12日

【四半期会計期間】 第46期第2四半期(自 平成27年7月1日 至 平成27年9月30日)

【会社名】 株式会社サガミチェーン

【英訳名】 SAGAMI CHAIN CO., LTD.

【代表者の役職氏名】 代表取締役社長 鎌田 敏行

【本店の所在の場所】 名古屋市守山区森孝一丁目1709番地

【電話番号】 052(771)2126(代表)

【事務連絡者氏名】 代表取締役専務 伊垣 政利

【最寄りの連絡場所】 名古屋市守山区森孝一丁目1709番地

【電話番号】 052(771)2126(代表)

【事務連絡者氏名】 代表取締役専務 伊垣 政利

【縦覧に供する場所】 株式会社東京証券取引所
(東京都中央区日本橋兜町2番1号)

株式会社名古屋証券取引所
(名古屋市中区栄三丁目8番20号)

第一部 【企業情報】

第1 【企業の概況】

1 【主要な経営指標等の推移】

回次		第45期 第2四半期 連結累計期間	第46期 第2四半期 連結累計期間	第45期
会計期間		自 平成26年4月1日 至 平成26年9月30日	自 平成27年4月1日 至 平成27年9月30日	自 平成26年4月1日 至 平成27年3月31日
売上高	(千円)	12,708,565	13,079,793	25,341,642
経常利益	(千円)	275,135	624,189	660,335
親会社株主に帰属する 四半期(当期)純利益	(千円)	131,093	388,520	458,323
四半期包括利益又は包括利益	(千円)	159,423	444,730	597,194
純資産額	(千円)	10,983,778	13,510,765	11,443,756
総資産額	(千円)	18,078,601	18,785,154	17,978,853
1株当たり四半期(当期) 純利益金額	(円)	5.25	14.67	18.36
潜在株式調整後1株当たり 四半期(当期)純利益金額	(円)	-	-	-
自己資本比率	(%)	60.7	71.9	63.6
営業活動による キャッシュ・フロー	(千円)	234,165	307,373	1,155,821
投資活動による キャッシュ・フロー	(千円)	271,392	469,290	276,783
財務活動による キャッシュ・フロー	(千円)	242,923	679,618	1,076,328
現金及び現金同等物の 四半期末(期末)残高	(千円)	3,122,928	3,821,678	3,298,259

回次		第45期 第2四半期 連結会計期間	第46期 第2四半期 連結会計期間
会計期間		自 平成26年7月1日 至 平成26年9月30日	自 平成27年7月1日 至 平成27年9月30日
1株当たり四半期純利益金額	(円)	10.38	12.22

- (注) 1. 当社は四半期連結財務諸表を作成しておりますので、提出会社の主要な経営指標等の推移については記載しておりません。
2. 売上高には、消費税等は含まれておりません。
3. 各期の潜在株式調整後1株当たり四半期(当期)純利益については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。
4. 「企業結合に関する会計基準」(企業会計基準第21号 平成25年9月13日)等を適用し、第1四半期連結累計期間より、「四半期(当期)純利益」を「親会社株主に帰属する四半期(当期)純利益」としております。

2 【事業の内容】

当第2四半期連結累計期間において、当社グループにおいて営まれている事業の内容に重要な変更はありません。

なお、第1四半期連結会計期間より、株式会社サガミマスターズを新たに設立したため、連結の範囲に含めております。

第2 【事業の状況】

1 【事業等のリスク】

当第2四半期連結累計期間において、新たに発生した事業等のリスクはありません。
また、前事業年度の有価証券報告書に記載した事業等のリスクについて重要な変更はありません。

2 【経営上の重要な契約等】

当第2四半期連結会計期間において、新たに締結された経営上の重要な契約等はありません。

3 【財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況の分析】

(1) 経営成績の分析

当第2四半期連結累計期間（平成27年4月1日から平成27年9月30日）におけるわが国経済は、政府の経済対策や日銀の金融政策による下支え効果もあり、企業業績や雇用・所得環境が改善傾向にある等、緩やかな回復基調が続いていますが、物価上昇に伴う実質賃金の低下等の影響もあり、個人消費の回復には至っていません。

外食産業につきましても、景気回復と連動する形で緩やかに外食支出は回復してきていますが、円安による原材料費の値上がりや、労働需給の逼迫による人件費の上昇、物価高による消費者の根強い節約志向等の影響、更には、中食需要の高まりを受け、小売業を巻き込んだ食市場の争奪戦となっており、依然として厳しい経営環境が続いています。

このような環境のもと当社グループは、お客様起点思考の視座をグループ全社で堅持しながら、店舗の改革を進めると共に、ビジョン“ No.1 Noodle Restaurant Company ”の共有、改革の継続（意識改革・制度改革・組織改革）、営業利益率重視の経営、グループ経営の強化を柱に取り組みまいりました。

(各事業部門)

(a) 和食麺類部門

和食麺類部門では、当社主力業態である和食麺処「サガミ」において、全店販売促進企画として「お客様大感謝祭」を1回、「料理フェア」を4回実施したほか、愛知県・三重県・岐阜県・静岡県・富山県・奈良県・滋賀県で「こだわりテレビCM」を3回放映いたしました。これにより既存店客数は前年同一期間に対して1.6%増、客単価が前年同一期間に対して3.2%増となり、既存店売上高は前年同一期間に対して4.8%増となりました。

なお、当第2四半期末の店舗数は128店舗であります。

(b) 味の民芸部門

味の民芸部門では、全店販売促進企画として「料理フェア」を6回実施したほか、「スピードくじ企画」を6回実施いたしました。

なお、当第2四半期末での店舗数はFC店舗を含み56店舗であります。

(c) どんどん庵部門

どんどん庵部門では、全店販売促進企画として「どんどん祭」を1回実施したほか、「料理フェア」を4回実施いたしました。

店舗関係では、「どんどん庵 岡崎大前店」（7月）を閉鎖いたしました。

なお、当第2四半期末での店舗数はFC店舗を含み39店舗であります。

(d) その他の部門

その他の部門では、団欒食堂「あいそ家」において「お客様感謝企画」を1回実施したほか、「料理フェア」を3回実施いたしました。大型セルフうどん店「製麺大学」においては、「割引券配布企画」を4回実施いたしました。

店舗関係では、「盛賀美 青山店」を「さがみ 青山店」（4月）に業態変更し、インドネシア ジャカルタのイオンモールBSD CITYに「SAGAMI イオンモールBSD CITY店」（5月）を出店いたしました。一方で、「水山 土岐プレミアムアウトレット店」（5月）、「あいそ家 半田店」（8月）、「JINJIN ecute大宮店」（8月）、「上海盛賀美 延安西路店」（9月）を閉鎖いたしました。

また、期間限定ではありますがイタリア ミラノ国際博覧会（5月1日から10月31日まで開催）に参加し、日本館のフードコートに出店いたしました。

なお、当第2四半期末での店舗数は46店舗であります。

この結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は13,079百万円、営業利益は595百万円、経常利益は624百万円、親会社株主に帰属する四半期純利益は388百万円となり、当第2四半期末のグループ店舗数は269店舗であります。

(2) 財政状態の分析

当第2四半期連結会計期間末の総資産は、18,785百万円と前連結会計年度末比806百万円の増加となりました。流動資産は前連結会計年度末比700百万円増加し5,043百万円、固定資産は105百万円増加し13,741百万円、流動負債は前連結会計年度末比913百万円減少し3,075百万円、固定負債は347百万円減少し2,199百万円、純資産は2,067百万円増加し13,510百万円となりました。

(3) キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物（以下「資金」という）は、前連結会計年度末に比べて523百万円増加し3,821百万円となりました。当第2四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの増減要因は次のとおりであります。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

当第2四半期連結累計期間における営業活動の結果獲得した資金は307百万円となりました。これは主に、税金等調整前四半期純利益によるものであります。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

当第2四半期連結累計期間における投資活動の結果減少した資金は469百万円となりました。これは主に、有形固定資産の取得による支出によるものであります。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

当第2四半期連結累計期間における財務活動の結果獲得した資金は679百万円となりました。これは主に、株式の発行による収入によるものであります。

(4) 事業上及び財務上の対処すべき課題

当第2四半期連結累計期間において、当社グループが対処すべき課題について重要な変更はありません。

(5) 研究開発活動

特記すべき事項はありません。

(6) 従業員数

連結会社の状況

当第2四半期連結累計期間において、当社グループの従業員数に著しい増減はありません。

提出会社の状況

当第2四半期累計期間において、当社の従業員数に著しい増減はありません。

第3 【提出会社の状況】

1 【株式等の状況】

(1) 【株式の総数等】

【株式の総数】

種類	発行可能株式総数(株)
普通株式	74,630,000
計	74,630,000

【発行済株式】

種類	第2四半期会計期間末 現在発行数(株) (平成27年9月30日)	提出日現在発行数(株) (平成27年11月12日)	上場金融商品取引所 名又は登録認可金融 商品取引業協会名	内容
普通株式	26,501,784	同左	東京証券取引所 市場第一部 名古屋証券取引所 市場第一部	単元株式数 1,000株
計	26,501,784	同左		

(注) 平成27年5月12日開催の取締役会決議により、単元株式数については平成27年10月1日付で1,000株から100株に変更となります。

(2) 【新株予約権等の状況】

該当事項はありません。

(3) 【行使価額修正条項付新株予約権付社債券等の行使状況等】

該当事項はありません。

(4) 【ライツプランの内容】

該当事項はありません。

(5) 【発行済株式総数、資本金等の推移】

年月日	発行済株式 総数増減数 (千株)	発行済株式 総数残高 (千株)	資本金増減額 (千円)	資本金残高 (千円)	資本準備金 増減額 (千円)	資本準備金 残高 (千円)
平成27年7月1日～ 平成27年9月30日		26,501		7,178,109		4,280,379

(6) 【大株主の状況】

平成27年9月30日現在

氏名又は名称	住所	所有株式数 (千株)	発行済株式 総数に対する 所有株式数 の割合(%)
昭和産業株式会社	東京都千代田区内神田二丁目2 - 1	1,194	4.5
アサヒビール株式会社	東京都墨田区吾妻橋1丁目23 - 1	1,032	3.8
株式会社愛知銀行	名古屋市中区栄三丁目14-12	923	3.4
北村 昌夫	名古屋市東区	544	2.0
岩月 康之	名古屋市東区	490	1.8
栗本 美子	名古屋市天白区	460	1.7
サガミ共栄会	名古屋市守山区森孝一丁目1709	455	1.7
株式会社昭和	名古屋市熱田区明野町2 - 3	433	1.6
第一生命保険株式会社	東京都千代田区有楽町一丁目13 - 1	399	1.5
大嶋 つき子	愛知県尾張旭市	375	1.4
計		6,308	23.8

(注) 当社は、自己株式として14千株(所有割合0.0%)を所有しております。

(7) 【議決権の状況】

【発行済株式】

平成27年9月30日現在

区分	株式数(株)	議決権の数(個)	内容
無議決権株式			
議決権制限株式(自己株式等)			
議決権制限株式(その他)			
完全議決権株式(自己株式等)	(自己保有株式) 普通株式 14,000		
完全議決権株式(その他)	普通株式 26,303,000	26,303	
単元未満株式	普通株式 184,784		
発行済株式総数	26,501,784		
総株主の議決権		26,303	

(注) 1 「単元未満株式」の欄には、当社所有の自己株式278株が含まれております。

2 「単元未満株式」の欄には、証券保管振替機構名義の株式が50株含まれております。

【自己株式等】

平成27年9月30日現在

所有者の氏名 又は名称	所有者の住所	自己名義 所有株式数 (株)	他人名義 所有株式数 (株)	所有株式数 の合計 (株)	発行済株式 総数に対する 所有株式数 の割合(%)
(自己保有株式) 株式会社サガミチェーン	名古屋市守山区 森孝一丁目1709番地	14,000		14,000	0.0
計		14,000		14,000	0.0

2 【役員の状況】

前事業年度の有価証券報告書提出日後、当四半期累計期間における役員の異動はありません。

第4 【経理の状況】

1．四半期連結財務諸表の作成方法について

当社の四半期連結財務諸表は、「四半期連結財務諸表の用語、様式及び作成方法に関する規則」(平成19年内閣府令第64号)に基づいて作成しております。

2．監査証明について

当社は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、第2四半期連結会計期間(平成27年7月1日から平成27年9月30日まで)及び第2四半期連結累計期間(平成27年4月1日から平成27年9月30日まで)に係る四半期連結財務諸表について、有限責任 あずさ監査法人により四半期レビューを受けております。

1 【四半期連結財務諸表】

(1) 【四半期連結貸借対照表】

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成27年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成27年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	3,307,915	3,831,330
受取手形及び売掛金	165,743	215,621
有価証券	20,343	20,348
商品及び製品	103,374	104,810
原材料及び貯蔵品	226,830	255,464
繰延税金資産	176,620	186,997
その他	343,153	430,196
貸倒引当金	809	809
流動資産合計	4,343,171	5,043,959
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	1,880,690	1,839,480
機械装置及び運搬具（純額）	209,458	429,340
土地	6,646,273	6,646,273
その他（純額）	332,931	230,031
有形固定資産合計	9,069,354	9,145,126
無形固定資産		
のれん	917,582	855,598
その他	137,634	148,365
無形固定資産合計	1,055,216	1,003,964
投資その他の資産		
投資有価証券	1,261,498	1,441,048
長期貸付金	186,364	159,911
差入保証金	1,914,709	1,868,163
繰延税金資産	6,324	3,148
その他	150,663	128,283
貸倒引当金	8,450	8,450
投資その他の資産合計	3,511,110	3,592,104
固定資産合計	13,635,681	13,741,195
資産合計	17,978,853	18,785,154

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成27年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成27年9月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	668,746	616,295
短期借入金	600,000	61,225
1年内返済予定の長期借入金	707,012	630,028
未払金	1,367,383	953,089
未払法人税等	100,522	159,317
賞与引当金	127,616	131,469
店舗閉鎖損失引当金	8,836	5,995
その他	408,786	517,908
流動負債合計	3,988,904	3,075,327
固定負債		
長期借入金	1,555,392	1,259,628
長期末払金	345,119	310,165
退職給付に係る負債	6,285	6,572
資産除去債務	404,370	402,529
長期預り保証金	87,588	86,149
その他	147,436	134,017
固定負債合計	2,546,192	2,199,061
負債合計	6,535,096	5,274,389
純資産の部		
株主資本		
資本金	6,303,521	7,178,109
資本剰余金	3,405,791	4,280,379
利益剰余金	1,458,077	1,721,797
自己株式	11,607	13,704
株主資本合計	11,155,783	13,166,581
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	218,200	276,523
為替換算調整勘定	69,145	67,660
その他の包括利益累計額合計	287,346	344,183
非支配株主持分	626	-
純資産合計	11,443,756	13,510,765
負債純資産合計	17,978,853	18,785,154

(2) 【四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書】

【四半期連結損益計算書】

【第2四半期連結累計期間】

	(単位：千円)	
	前第2四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年9月30日)
売上高	12,708,565	13,079,793
売上原価	3,876,453	4,029,259
売上総利益	8,832,112	9,050,533
販売費及び一般管理費	8,592,179	8,455,049
営業利益	239,932	595,484
営業外収益		
受取利息	3,211	2,364
受取配当金	16,317	16,673
為替差益	11,250	7,121
雑収入	21,511	17,354
営業外収益合計	52,291	43,513
営業外費用		
支払利息	10,905	6,180
株式交付費	-	6,122
雑損失	6,182	2,505
営業外費用合計	17,087	14,808
経常利益	275,135	624,189
特別利益		
固定資産売却益	1	300
その他	-	265
特別利益合計	1	565
特別損失		
固定資産除却損	31,078	15,547
減損損失	38,852	119,277
その他	4,920	790
特別損失合計	74,852	135,615
税金等調整前四半期純利益	200,284	489,139
法人税、住民税及び事業税	61,703	115,550
法人税等調整額	9,831	14,220
法人税等合計	71,534	101,329
四半期純利益	128,749	387,810
非支配株主に帰属する四半期純損失()	2,344	710
親会社株主に帰属する四半期純利益	131,093	388,520

【四半期連結包括利益計算書】

【第2四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年9月30日)
四半期純利益	128,749	387,810
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	53,149	58,322
為替換算調整勘定	22,475	1,402
その他の包括利益合計	30,673	56,920
四半期包括利益	159,423	444,730
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	162,180	445,357
非支配株主に係る四半期包括利益	2,756	626

(3) 【四半期連結キャッシュ・フロー計算書】

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	200,284	489,139
減価償却費	234,888	243,566
減損損失	38,852	119,277
のれん償却額	50,976	61,984
貸倒引当金の増減額(は減少)	1,269	-
為替差損益(は益)	12,007	7,121
賞与引当金の増減額(は減少)	23,398	3,853
退職給付に係る負債の増減額(は減少)	282,761	286
店舗閉鎖損失引当金の増減額(は減少)	14,665	2,841
受取利息及び受取配当金	19,528	19,037
支払利息	10,905	6,180
株式交付費	-	6,122
固定資産売却損益(は益)	1	256
固定資産除却損	31,078	15,622
売上債権の増減額(は増加)	18,456	49,877
たな卸資産の増減額(は増加)	14,332	30,070
仕入債務の増減額(は減少)	22,287	52,451
未払金の増減額(は減少)	171,738	163,291
その他	8,478	279,697
小計	375,409	341,901
利息及び配当金の受取額	17,408	17,500
利息の支払額	10,796	6,008
法人税等の支払額	147,856	46,020
営業活動によるキャッシュ・フロー	234,165	307,373
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	400,864	410,608
有形固定資産の売却による収入	53,035	601
投資有価証券の取得による支出	-	119,101
投資有価証券の売却による収入	-	2,442
差入保証金の差入による支出	16,629	1,902
差入保証金の回収による収入	79,582	48,434
その他	13,483	10,843
投資活動によるキャッシュ・フロー	271,392	469,290
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額(は減少)	160,000	538,775
長期借入れによる収入	500,000	-
長期借入金の返済による支出	427,162	372,748
株式の発行による収入	-	1,743,054
自己株式の取得による支出	3,602	2,097
配当金の支払額	124,827	124,291
リース債務の返済による支出	27,332	25,523
財務活動によるキャッシュ・フロー	242,923	679,618
現金及び現金同等物に係る換算差額	10,468	5,718
現金及び現金同等物の増減額(は減少)	290,618	523,419
現金及び現金同等物の期首残高	3,413,547	3,298,259
現金及び現金同等物の四半期末残高	3,122,928	3,821,678

【注記事項】

(継続企業の前提に関する事項)

該当事項はありません。

(連結の範囲又は持分法適用の範囲の変更)

第1四半期連結会計期間より、株式会社サガミマイスターズを新たに設立したため、連結の範囲に含めております。

(会計方針の変更等)

(企業結合に関する会計基準の適用)

「企業結合に関する会計基準」(企業会計基準第21号 平成25年9月13日)、「連結財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第22号 平成25年9月13日)及び「事業分離等に関する会計基準」(企業会計基準第7号 平成25年9月13日)等を、第1四半期連結会計期間から適用し、四半期純利益等の表示の変更及び少数株主持分から非支配株主持分への表示の変更を行っております。当該表示の変更を反映させるため、前第2四半期連結累計期間及び前連結会計年度については、四半期連結財務諸表及び連結財務諸表の組替えを行っております。

なお、当第2四半期連結累計期間において、四半期連結財務諸表に与える影響額はありません。

(四半期連結損益計算書関係)

販売費及び一般管理費のうち、主要な費目及び金額は次のとおりであります。

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成26年4月1日 至 平成26年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成27年4月1日 至 平成27年9月30日)
広告宣伝費	185,261千円	164,032千円
給与及び賞与	4,157,681千円	4,151,218千円
賞与引当金繰入額	107,362千円	130,776千円
退職給付費用	58,028千円	47,990千円
減価償却費	214,275千円	212,362千円
賃借料	1,425,036千円	1,337,523千円
水道光熱費	848,533千円	771,990千円
のれん償却額	50,976千円	61,984千円

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書関係)

現金及び現金同等物の期末残高と連結貸借対照表に掲記されている科目の金額との関係

	前第2四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年9月30日)
現金及び預金勘定	3,132,590 千円	3,831,330 千円
有価証券勘定	20,338 千円	20,348 千円
計	3,152,928 千円	3,851,678 千円
預入期間が3ヶ月を超える 定期預金及び定期積金	30,000 千円	30,000 千円
現金及び現金同等物	3,122,928 千円	3,821,678 千円

(株主資本等関係)

前第2四半期連結累計期間(自平成26年4月1日至平成26年9月30日)

1. 配当金支払額

決議	株式の種類	配当金の総額 (千円)	1株当たり 配当額(円)	基準日	効力発生日	配当の原資
平成26年6月26日 定時株主総会	普通株式	124,827	5.00	平成26年3月31日	平成26年6月27日	利益剰余金

2. 基準日が当第2四半期連結累計期間に属する配当のうち、配当の効力発生日が当第2四半期連結会計期間の末日
後となるもの

該当事項はありません。

3. 株主資本の著しい変動

該当事項はありません。

当第2四半期連結累計期間(自平成27年4月1日至平成27年9月30日)

1. 配当金支払額

決議	株式の種類	配当金の総額 (千円)	1株当たり 配当額(円)	基準日	効力発生日	配当の原資
平成27年6月25日 定時株主総会	普通株式	124,800	5.00	平成27年3月31日	平成27年6月26日	利益剰余金

2. 基準日が当第2四半期連結累計期間に属する配当のうち、配当の効力発生日が当第2四半期連結会計期間の末日
後となるもの

該当事項はありません。

3. 株主資本の著しい変動

当社は平成27年4月2日付で、アサヒビール(株) 昭和産業(株) (株)愛知銀行 ヤマモリ(株) 旭川駅立売(株) 金印物産(株)から第三者割当増資の払込みを受けました。この結果、当第2四半期連結累計期間において資本金が874,588千円、資本準備金が874,588千円増加し、当第2四半期連結会計期間末において資本金が7,178,109千円、資本剰余金が4,280,379千円となっております。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

前第2四半期連結累計期間(自 平成26年4月1日 至 平成26年9月30日)

当社グループの報告セグメントは、「外食事業」のみであり、その他の事業セグメントは重要性が乏しいため、記載を省略しております。

当第2四半期連結累計期間(自 平成27年4月1日 至 平成27年9月30日)

当社グループの報告セグメントは、「外食事業」のみであり、その他の事業セグメントは重要性が乏しいため、記載を省略しております。

(1株当たり情報)

1株当たり四半期純利益金額及び算定上の基礎並びに潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額は、以下のとおりであります。

項目	前第2四半期連結累計期間 (自 平成26年4月1日 至 平成26年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成27年4月1日 至 平成27年9月30日)
(1) 1株当たり四半期純利益金額	5円25銭	14円67銭
(算定上の基礎)		
親会社株主に帰属する四半期純利益金額(千円)	131,093	388,520
普通株主に帰属しない金額(千円)		
普通株式に係る親会社株主に帰属する四半期純利益金額(千円)	131,093	388,520
普通株式の期中平均株式数(千株)	24,963	26,480
(2) 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額については、潜在株式が存在しないため、記載しておりません。	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額については、潜在株式が存在しないため、記載しておりません。
希薄化効果を有しないため、潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額の算定に含めなかった潜在株式で、前連結会計年度末から重要な変動があったものの概要		

(重要な後発事象)

該当事項はありません。

2 【その他】

該当事項はありません。

第二部 【提出会社の保証会社等の情報】

該当事項はありません。

独立監査人の四半期レビュー報告書

平成27年11月12日

株式会社サガミチェーン
取締役会 御中

有限責任 あずさ監査法人

指定有限責任社員
業務執行社員 公認会計士 岡 野 英 生 印

指定有限責任社員
業務執行社員 公認会計士 澤 田 吉 孝 印

当監査法人は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、「経理の状況」に掲げられている株式会社サガミチェーンの平成27年4月1日から平成28年3月31日までの連結会計年度の第2四半期連結会計期間(平成27年7月1日から平成27年9月30日まで)及び第2四半期連結累計期間(平成27年4月1日から平成27年9月30日まで)に係る四半期連結財務諸表、すなわち、四半期連結貸借対照表、四半期連結損益計算書、四半期連結包括利益計算書、四半期連結キャッシュ・フロー計算書及び注記について四半期レビューを行った。

四半期連結財務諸表に対する経営者の責任

経営者の責任は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して四半期連結財務諸表を作成し適正に表示することにある。これには、不正又は誤謬による重要な虚偽表示のない四半期連結財務諸表を作成し適正に表示するために経営者が必要と判断した内部統制を整備及び運用することが含まれる。

監査人の責任

当監査法人の責任は、当監査法人が実施した四半期レビューに基づいて、独立の立場から四半期連結財務諸表に対する結論を表明することにある。当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期レビューの基準に準拠して四半期レビューを行った。

四半期レビューにおいては、主として経営者、財務及び会計に関する事項に責任を有する者等に対して実施される質問、分析的手続その他の四半期レビュー手続が実施される。四半期レビュー手続は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して実施される年度の財務諸表の監査に比べて限定された手続である。

当監査法人は、結論の表明の基礎となる証拠を入手したと判断している。

監査人の結論

当監査法人が実施した四半期レビューにおいて、上記の四半期連結財務諸表が、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して、株式会社サガミチェーン及び連結子会社の平成27年9月30日現在の財政状態並びに同日をもって終了する第2四半期連結累計期間の経営成績及びキャッシュ・フローの状況を適正に表示していないと信じさせる事項がすべての重要な点において認められなかった。

利害関係

会社と当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以 上

(注) 1. 上記は四半期レビュー報告書の原本に記載された事項を電子化したものであり、その原本は当社(四半期報告書提出会社)が別途保管しております。

2. XBRLデータは四半期レビューの対象には含まれていません。